

2020東京オリンピック感想 8月18日(水)

賛否両論があった2020東京オリンピック大会は、7月23日の開会式から17日間に渡って33種類の競技が開催され、あっという間に8月8日の閉会式を迎え、無事に終わりました。

私にとって、2020東京オリンピックが開催されたことは良いことだと思います。なぜなら、長年にわたり準備してきた選手たちがメダルを獲得したかどうかに関わらず、このアスリートの登竜門で、世界の国々から来た一流の選手たちと競うチャンスが四年に一回くるとしても、今回の東京オリンピックを逃したら、2024パリオリンピックに選手権に必ず出られるとは限らないからです。

また、日本は素晴らしい成績を挙げて(あげて)、獲得メダル数も過去最多でした。さらに、オリンピック開催国として世界中の国々からの評判も高く、オリンピックの歴史上、人類を代表して、新型コロナウイルスと戦い、パンデミックにも対抗しながら、社会経済活動も持続させた勇気ある国だと必ず名を刻まれるはずです。

とはいえ、残念なこともありました。2016リオオリンピック閉会式に登場したアベマリオは2020東京オリンピックの開会式につづいては出ませんでした。開会式で、一番印象的なものといったら、ピクトグラムのパフォーマンスを思い浮かべます。閉会式も東京音頭のほかに、富士山にしる、アニメにしても、もっと日本らしい物を、表現したほうがよかったと思います。1964年のオリンピックでは世界に高度成長の日本を見せましたが、今回の2020東京オリンピックは、結局、世界に何をアピールするつもりだったのでしょうか。私にははっきり見えませんでした。

実は、8月18日の今日現在、2020東京オリンピックはまだ日本に続いているといっても過言ではありません。世界の国々がまだ日本の進捗を見えています。これからの勝負は、メダル数ではなく、世界記録でもなく、新型コロナウイルスの日本での感染者数です。少なくとも一都三県の感染者数を抑えるまでは、2020東京オリンピックが成功裏に終了したとは言えないと思います。